

# 数学

岐阜大学 教育学部 (イ)、地域科学部、応用生物科学部  
 (応用生命科学課程、生産環境科学課程)、医学部 (看護学科)  
 (前期) 1 / 1

## <全体分析>

試験時間	120 分	解答問題数	5 題
------	-------	-------	-----

### 解答形式

全問論述式

### 分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加)

難易 (易化・やや易化・**変化なし**・やや難化・難化)

### 出題の特徴

5題必須. 各大問の配点比率 (%) が明記されている.  
 大問1題が3～5問の小問から構成されている.

その他トピックス (入試改革の方向性を踏まえた目新しい出題など)

## <大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
1	場合の数	数学A	順列.	標準
2	ベクトル	数学B	位置ベクトル, 三角形の面積比.	標準
3	三角関数	数学II	和積の公式を利用して解を求める.	やや難
4	三角比	数学I	三角形の相似, 余弦定理.	標準
5	微分法	数学II	4次関数の微分. 線分の長さの最小値.	標準

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

## <学習対策>

ここ数年の出題傾向を見ると、三角関数、場合の数・確率、微分法、ベクトルがよく出題されている。

問題は標準レベル中心であるので、頻出問題を繰り返し解くとよい。問題文をよく分析し、粘り強く解法を組み立てていく力と、文字を含む計算を正確に行う力が必要である。また、場合の数・確率については、正確に数え上げる力も必要とされることがある。解法を暗記するだけの学習でなく、解法の道筋をきちんと捉え、応用力を養うように心がけて学習してほしい。